

地理・歴史 世界史

問題 I

〔出題の意図〕

中国の伝統的な対外認識の形態である「華」と「夷」の区別は、歴代王朝の周辺国・周辺民族との関係を律する基本的な原理であるだけでなく、ある意味今日の中国の対外関係にも影響を与えている。そのような「華」と「夷」の区別の基本的な考え方に対する理解と、それによってモンゴルの建てた元朝の中国支配が中国史ではどのように説明されているかを読み取る力の有無を問う。

〔正解・解答例〕

- 問 1 ㉠ 漢族であるか否か（漢族／漢人／華夏族であるか異民族であるか）
㉡ 中心か外縁か（中心部に住んでいるか、外縁／周縁に住んでいるか）
- 問 2 ㉢ 儒教（儒学）思想 （王朝） 漢
- 問 3 （解答例）「華」と「夷」の区別自体は排他的であるが、本文中の㉢の考え方からすれば、「華」がもともと「夷」であった民族・地域を取り込んで膨張していくことが可能であるため。
- 問 4 ㉣（君主） 朱元璋 ㉤（王朝） 明
- 問 5 ㉥（王朝） 元 ㉦（君主） クビライ（世祖）
- 問 6 ㉧ 禅譲 ㉨ 放伐
- 問 7 （解答例）儒教が国教化されて以降の中国においては、禅譲・放伐という易姓革命こそが新たな政権の正統性を示し、新君主が天から政権委譲を受けた「天子」であることを示す根拠となった。この思想に基づいて明の正統性を示すためには、元も単なる「夷狄」ではなく、かつては正統性をもった王朝であり、明はそれを継承したと主張する必要があったから。

問題Ⅱ

〔出題の意図〕

ヨーロッパ、アフリカの近代史にかかわる重要な諸史料を手がかりに、正確な歴史的知識を問うとともに、それらの知識を踏まえて論理的に叙述する能力をみる。

〔正解・解答例〕

問1 A：5、B：1、C：4、D：2、E：3

問2 ①：C、②：B、③：A、④：E

問3 (解答例) イギリスはブール人(アフリカーナー)に勝利して、トランスヴァール共和国、オレンジ自由国の領有権を獲得し、やがてイギリス帝国内の自治領である南アフリカ連邦の州として組み込んだ。

問4 『レ・ミゼラブル』など。

問5 (解答例) 西ヨーロッパと異なり、農村共同体を基盤とした改革を求めて、「ヴ・ナロード」の標語のもとに農村に入って活動したインテリゲンツィア(知識人階級)など、ロシアの運動家・思想家で、弾圧されて運動は挫折し、一部はテロリズムへと走った。

問6 ナポレオン3世

問7 血の日曜日事件

問題Ⅲ

〔出題の意図〕

今日の東アジア情勢を理解する上で重要な日中共同声明調印前後における歴史的变化について基本的知識の有無を問う。また、歴史事象について、資料をふまえて的確に説明する能力の有無を問う。

〔正解・解答例〕

問1 ㉞周恩来 ㉠毛沢東

問2 ㉡三国志(魏書) ㉢魏志倭人伝

問3 ㉣(台湾)総督 ㉤皇民化

問4 ㉥ソ連 ㉦文化大革命 ㉧ニクソン

問5 ㉨日中平和友好 ㉩改革開放 ㉪社会主義市場

問6 ㉫辛亥革命 ㉬孫文(袁世凱) ㉭蔣(蔣)介石

問7 ㉮サンフランシスコ平和(講和) ㉯朝鮮

問 8 ㉞二・二八 ㉟国際連合（国連）

問 9 ㊱李登輝 ㊲民主進歩（民進）

問 10 現実：中華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府である，ということが多くの国に承認されていること。

幻想：中華民国政府が一貫して本国領土上で，憲法に基づき主権を行使している，ということ。

問題IV

〔出題の意図〕

ヨーロッパの近代に発展された政治・経済制度の矛盾や問題点が、第一次世界大戦を機に明らかにされた。その結果 19 世紀に欧米で発展した自由主義的、帝国主義的な世界秩序は修正をせまられ、あたらしい政治・経済・社会のしくみの構築が求められた。その際に浮上したさまざまな課題のうち、本問題では平和で安定した国際体制の実現という課題に着目する。解答の際には、戦後社会がどう取り組んだかを考察したうえで、第二次世界大戦につながるファシズムが登場したために国際協調と軍縮というねらいは成功したとはいいがたかった状況が適切にまとめられるかを問う。

〔解答のヒント〕

第一次世界大戦後、世界の恒久的平和を目的とする国際連盟の設置につながった動きと、軍縮を目指す動きをもとに、1920 年代のヨーロッパの状況がどのように推移したかを、会議やその帰結の条約の特徴をとらえて記述するとよい。そのうえで、紛争調停の手段としての戦争を放棄する目標を掲げた不戦条約が提唱・締結された一方で、世界恐慌後は近代のヨーロッパで発展された自由主義や議会制民主主義を否定し、さらに第一次世界大戦後に発展してきた国際協調を否定するファシズムの勢力が伸長したところまで考察を進められるかが問われる。